

蓬左

HÔSA No.50

名古屋市蓬左文庫
Nagoyashi Hôsabunko

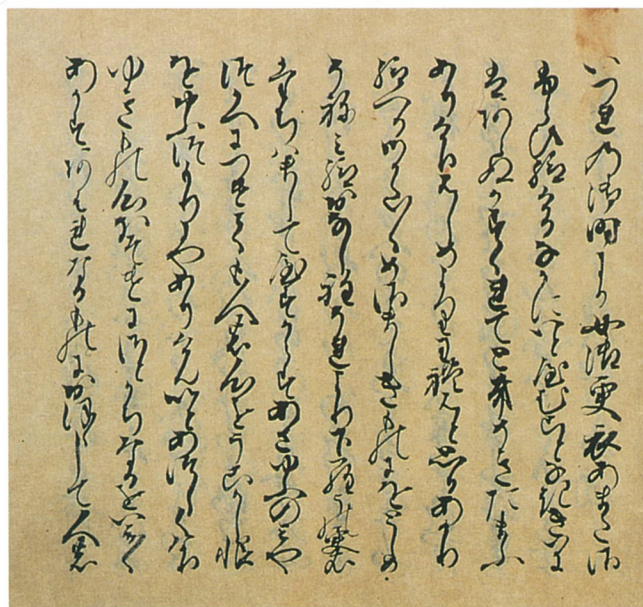
1993. 10



「桐壺」表紙 (11.6×12.5cm)



書物箱 (14.5×29.8×23.7cm)



「桐壺」巻頭

源氏物語 室町末期写 54巻54冊

付 筆者目録3種 2冊1巻

書物箱 1基

(解説は3ページ参照)

古典文学の世界

1993. 10/2～10/31, 11/4～11/30

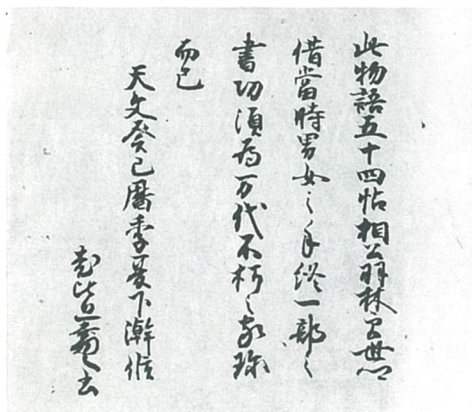
1994. 1/16～2/13, 2/26～3/27

中国においては、詩経にはじまり、李白、杜甫、白楽天等唐代の詩人の作品群等々、わが国では、記紀、万葉から源氏物語、古今集等々、古典文学の諸作品は、年月を越え読みつがれ、さらに、芸術、文化をはじめとする各分野に影響を与え続けてきました。蓬左文庫は、和漢の古典の宝庫といわれ、古典文学に関する書物に名品の多いことでも知られています。これは、当文庫が、尾張藩の御文庫の後身で、家康から譲られた駿河御譲本はもちろん、初代義直、二代光友をはじめ歴代藩主等も、古典文学書の収拾に熱心であったことによるものです。古典文学に対する知識は、公的な地位や教養の水準を示すものでもありました。また、わが国の古典文学を代表する和歌や物語の書物には、装飾性を重視したものが多くみられます。名筆家による優美な書、金銀泥で様々に装飾された料紙、金欄の表紙など、王朝文学を生んだ雅な世界を伝える意匠が、各々の時代の美意識を取り入れながら受け継がれていきました。江戸時代大名家においては、和歌や物語の書物は読書の対象にとどまらず、屋敷や身辺を飾る調度として豪華な装丁がほどこされ、さらに華麗な金蒔絵をほどこした容器が詠えられることもありました。

一方、古典文学は、支配階級の教養としてだけ享受されたわけではありません。江戸の大衆文芸の世

(1 ページ口絵解説)

源氏物語 室町時代末写 54巻54冊 付・筆者目録3種2冊1巻、書物箱1基



「夢の浮橋」巻末

此物語五十四帖、相公羽林実世卿、
借當時男女之手、終一部之
書功。須為万代不朽の家珍
而已。

天文癸巳曆季夏下渾候。

老比丘菟空書

藤原定家が校訂した写本「青表紙本」系の源氏物語。

最終帖「夢の浮橋」の巻末に、左記のような奥書がある。老比丘菟空は、三条西実隆。解説に疑問も残るが、相公羽林実世卿とは当時参議兼右近衛中将であった後の実枝（実隆の孫）であろう。天文2年(1533)6月下旬、実世が何人かの手を借りて書写を終えたことを実隆が奥書に記したものと解釈される。

本書には、「慶長3年7月18日 野釈（花押）」と年記のあるものを含め3種の筆者目録が付属しており、伏見宮貞敦親王、三条西実隆、同公條、同実枝、飛鳥井雅俊、周桂、宗牧など18人の名前があげられている。

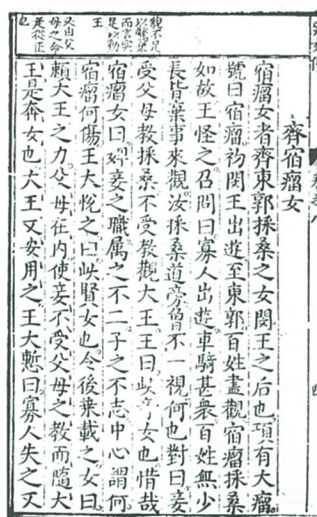
料紙は、鳥の子、様々な草花のモチーフの地模様のある金箔を押した見返しを使い、蠟箋の表紙をつけた小型の舁型本。表紙の中央には赤、朱、桜、黄、山吹、浅黄、鶯、白の8色の題箋を使って巻名を墨書。また、4段の重ね箱に桐を描いた金銀の蒔絵のかぶせ蓋のついた黒漆塗の専用の容器が付属している。

尾張藩時代の目録では、「御道具帳 寛保元西四月渡り帳 御茶道分」とある「御数寄屋御道具目録」のひとつに四代藩主吉通の生母本寿院所用の道具として記録されており、こうした書物が装飾的な調度のひとつであったことを物語っている。

界においても、様々に姿をかえ生き生きと登場しています。江戸時代の出版文化の発達、人情や勧善懲悪を主題とした大衆文学を生み出し、その題材には、多くの和漢の古典作品が影響をあたえ、また翻案されました。絵入り大衆長編小説「合巻」の作品として源氏物語を、室町時代の足利幕府の後宮に移して翻案し、大ベストセラーとなった柳亭種彦の「修紫田舎源氏」、中国の歴史小説「水滸伝」の影響を受けて滝沢馬琴が創作した「南総里見八犬伝」は、現代においても大衆に愛読され続けています。王朝の貴公子や、中国の英雄が江戸の人々に身近な歌舞伎役者風の風俗で、挿し絵を飾りました。

ところで、わが国の文化は、古代以来中国を中心とする大陸文化の影響を色濃く受けています。わが国の文学は、中国文学受容の蓄積の上に開花したものといえます。平安時代初期の菅原道真や空海の漢文学はもちろん、わが国固有の和様文学の開花といわれる紫式部、清少納言等の女流文学隆盛の背景には、中国古典の教養が脈々と流れ、源氏物語や枕草子には、「遊仙窟」、「列仙伝」などの伝奇文学や、唐代の詩人白楽天の作品の影響が、色濃く残されています。王朝文学に限らず、とくに西洋志向の強まる近代以前においては、和漢の古典は不即不離の関係にあって、次代の文学に影響を与え続けていました。その作品群は、東アジアの中国文化圏の文芸活動の一貫として位置づける必要もありそうです。

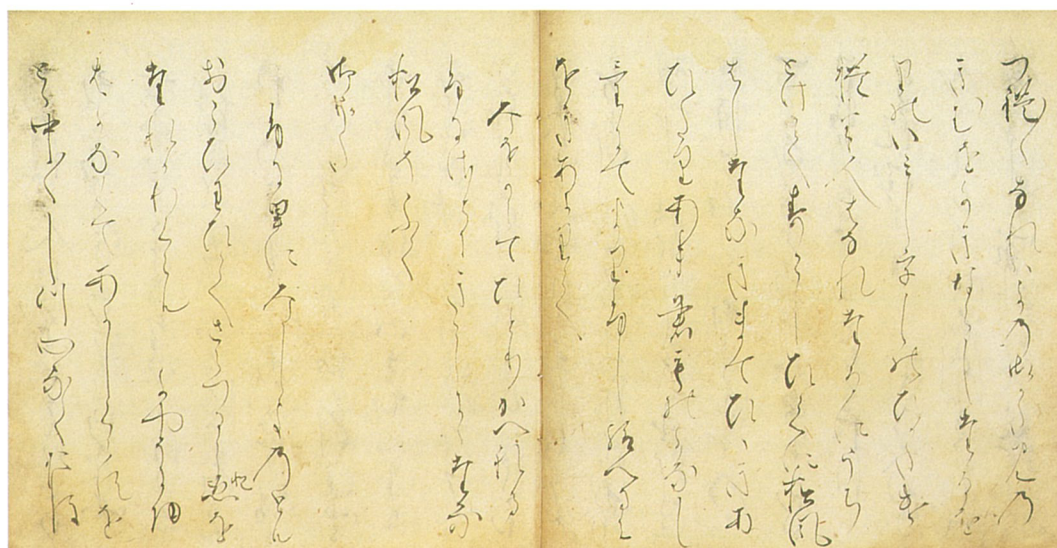
このように、古典文学を取り巻く世界にもいくつかの側面がみられます。平成五年度後半の展示室では、こうした古典文学の世界を、尾張徳川家旧蔵の多彩な和漢の古典籍を中心にご紹介します。



古今列女伝 劉向撰 茅坤等補評 萬曆15年(1587)刊 8巻3冊(27.7×17.0cm)

中国社会に古くから通俗物語として広く伝えられていた優れた女性の伝記をあつめたもの。母儀伝、賢明伝、貞準伝などに類別して記している。もとは、漢代の学者劉向(BC77～BC6)の編。劉向は、列仙伝(中国にふるくから伝わる仙人にかかわる伝記を集めたもの)の編者でもある。こうした、中国の巷間に流行した通俗物語は、留学生などを通して平安朝の漢文学、さらに女流文学にも影響を与えたといわれる。

本書は、初代藩主義直が、父家康の遺品として譲られた「駿河御謄本」のひとつ。明代に、一話ごとに挿し絵を添え、多くの補筆を加えて女子の教育用に編集、刊行されたものである。



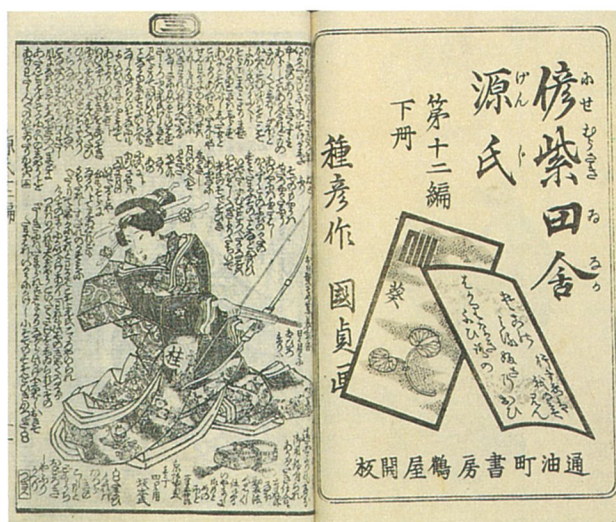
つれなれば かの御かた見の
(琴) きてををかきたるを(折)
 りのいみじうしのびがたけ
 れば 人はなれたるにうち
 とけて すこしひくに、松風
 はしたなきまでひびきあ
(厄) ひたり。あま君ものかなし(悲)
 げにて よりふし給へるに
(起) をきあがりて
(身) みをかへてひとりかへれる
(聞) ふるさに ききしににたる
 松風ぞふく
 御かた
 ふる里に みしよのとも
(恋) をこひわびて さへづることを
 たれかわくらん
 (後略)

源氏物語松風巻 鎌倉時代写（伝越部局筆） 1冊（15.5×15.5cm）

「源氏物語」第18巻「松風」の巻は、明石上一行の上洛と、それに対する明石上の父である明石の入道の惜別、源氏と明石上の再会と紫の上の嫉妬が主題となっている。上記写真中のはじめの歌は、なかなか訪ねてこない源氏を思っ明石上が弾く琴の音に、明石上の母である尼君が詠んだもので、巻名「松風」の由来となった歌である。

本書は、藤原定家が校訂した「青表紙本」、源光行、親行親子が校訂した「河内本」のどちらの系統にも属さない別本系の本文を有する端本。河内本成立以前の鎌倉時代も比較的早い時期に書写され、いわゆる古伝本に属するものと考えられている。同様に別本系の本文を持つ中山家本源氏物語「若紫」（文化庁蔵・重要文化財）とはつれの関係にあり、どちらももとは烏丸家の所蔵であったとみられる。明治30年代に烏丸家が蔵書を処分した際、「若紫」は中山家に、「松風」は平戸の松浦家に譲られた。その後、「松風」については、松浦家から尾張徳川家に譲渡されたのである。

料紙は、表紙と共紙の楮斐交漉き、題箋はなく、舛型本の中央に、「松風」と墨書されている。



修紫田舎源氏 柳亭種彦作 国貞画

文政11～天保13年(1828～42)刊

38編19冊

(17.5×12.2cm)

江戸時代後期、庶民の読み物として親しまれた娯楽性の強い挿し絵入り長編小説「合巻」のなかでも最大のベストセラー作品。古典「源氏物語」の翻案により「修紫」は「似せ」または「偽紫式部」の意味。「田舎」は、「卑俗」「まかい物」

の意味を含んでいる。足利義正（桐壺帝）と寵妾花桐（桐壺の更衣）の遺児光氏（光源氏）が紛失した將軍家の宝刀小烏丸と勅筆の短冊等を取り戻すべく、奸臣一味と闘いその方便として様々な奥女中や武家娘達と奔放な恋愛を展開する。歌舞伎調の演出、国貞による華麗な挿し絵があいまって熱狂的な読者の好評を得るが、好色な当代將軍家斉の大奥を描いたという風説によって絶版を命ぜられた。しかし、天保の改革の肅清気分が治まると続編が次々と創作され、光氏風の風貌の主人公を活躍させる作品が数多く輩出した。舞台化された作品も多く、また、錦絵にも田舎源氏を題材にした作品が流行し、「源氏絵」の分野を生んだ。

本書は、尾張藩の奥向きの蔵書であったと伝えられる書物。表紙の錦絵をはじめ、ほとんど新品に近い状態で残されており、一般的には、巷間を流転したものが多いため、美本の少ない江戸文学書のなかでは、珍しい存在である。その状態の良さについては、戦前の蓬左文庫に籍を置いたことのある書誌学の権威森銃三氏が、著作のなかで、「刷り下ろしのような美しい本」と評しており、また、蓬左文庫の常連でもあった尾崎久弥氏（江戸文学研究の先駆者、江戸文学書のコレクター）が、自身のコレクション中の自慢の美本「田舎源氏」を横に並べて言葉もなかったというエピソードが残っている。

蓬左文庫資料翻刻影印一覧 (3)

先回に引続き尾崎久弥コレクションの中からの翻刻とその他蓬左文庫資料の影印をとりあげました。

翻刻

尾崎久弥コレクション その2

(資料名の五十音順)

資 料 名 (資料番号)	収載書名(請求番号)	資 料 名 (資料番号)	収載書名(請求番号)
知多万歳 (尾19-25)	名古屋叢書 16 (Y 081-22)	風流裸人形 (尾12-33)	洒落本大成 8 (Y 9135-10)
茶のこもち (尾15-84)	江戸小咄本 (尾 G 7-13)	ふしみた (尾12-214)	洒落本大成 22 (Y 9135-10)
昼夜夢中咄(夢中うぬぼれ娘) (尾12-245)	洒落本大成 25 (Y 9135-10)	二筋道後篇廓の癖 (尾12-150)	洒落本大成 18 (Y 9135-10)
東海探語 (尾12-257)	洒落本大成 27 (Y 9135-10)	再成餅 (尾15-9)	江戸小咄本 (尾 G 7-13)
当世爰かしこ (尾12-30)	洒落本大成 6 (Y 9135-10)	部屋三味線 (尾12-184)	洒落本大成 19 (Y 9135-10)
当世とらの巻(契情買虎之巻) (尾12-37)	洒落本大成 7 (Y 9135-10)	北系兵庫結 (尾12-241)	洒落本大成 25 (Y 9135-10)
十千万両 (尾15-23)	江戸小咄本 (尾 G 7-13)	螺の世界 (尾12-223)	洒落本大成 23 (Y 9135-10)
南町大平記 (尾12-263)	洒落本大成 27 (Y 9135-10)	三都仮名話 (尾12-68)	洒落本大成 11 (Y 9135-10)
南遊記 (尾12-164)	洒落本大成 18 (Y 9135-10)	令子洞房 (尾12-91)	洒落本大成 13 (Y 9135-10)
匂ひ囊 (尾12-187)	洒落本大成 20 (Y 9135-10)	むだ砂子 (尾13-66)	洒落本大成 13 (Y 9135-10)
初霞江戸堅入 (尾16-145)	草双紙選 (尾 G 4-78)	諸時雨紅葉相傘 (尾16-131)	草双紙選 (尾 G 4-78)
一目土堤 (尾12-113)	洒落本大成 14 (Y 9135-10)	遊婦多数寄 (尾12-22)	洒落本大成 5 (Y 9135-10)
鄙風俗真垣 (尾12-307)	洒落本大成 26 (Y 9135-10)	夢の艦拍子 (尾12-251)	洒落本大成 26 (Y 9135-10)
百花評林 (尾12-3)	洒落本大成 1 (Y 9135-10)	四家怪談後日譚 (尾16-170)	草双紙選 (尾 G 4-78)
風俗問答 (尾12-31)	洒落本大成 7 (Y 9135-10)	和漢同詠道行 (尾12-67)	大田南畝全集 7 (Y 9135-17)
風流甚目寺参詣の記(能知亭折助嘶) (尾13-122)	名古屋叢書 17 (Y 081-22)		

同追加

全盛東花 色里名所鑑 (尾12-56)	洒落本大成 9 (Y 9135-10)	滑稽旅賀羅寿(旅烏) (尾16-127)	江戸文芸 信濃小説集 (尾 G 4-19)
津島土産 滑稽祇園守 後編 (尾13-47~49)	未刊名古屋小説集後(文化財叢書44) (Y 081-28)	座敷 三狂人 茶番 (尾12-274)	未刊名古屋小説集前(文化財叢書33) (Y 081-28)

七変人 初編 (尾13-160)	未刊名古屋小説集後(文化財叢書44) (Y 081-28)	日本惣社 津島土産 (尾13-42~44)	未刊名古屋小説集後(文化財叢書44) (Y 081-28)
四天王廓の茶番〔くるわの茶はん〕 (尾12-249)	洒落本大成 25 (Y 9135-10)		

影印

(資料名の五十音順)

資料名(資料番号)	収載書名(請求番号)	資料名(資料番号)	収載書名(請求番号)
奥入原中最秘抄 (108-68)	日本古典文学影印叢刊 19 (貴重本刊行会) (Y 910-62)	入木抄 (5-32)	入木抄 (滋賀文教短期大学) (Y 728-12)
楽学軌範 (167-1)	人文科学資料叢書 2 (延世大学校) (Y 762-1)	続日本紀 (168-1)	続日本紀 1~5 (八木書店) (Y 2103-31)
河内本 源氏物語 (104-8)	尾州家河内本 源氏物語 (日本古典文学会) (Y 9133-23)	張州雜志 (141-2)	張州雜志 (愛知県郷土資料刊行会) (Y 291-79)
源氏物語 松風・たけ河・総角・浮舟 (108-63~66)	日本古典文学影印叢刊 18 源氏物語古本集 (Y 910-62)	東坡紀年録 (101-31)	宋人所撰 三蘇年譜彙刊 (上海書籍出版社) (Y 921-6)
源平盛衰記 (164-6)	源平盛衰記 (古典研究会) (Y 9134-19)	東文選・続東文選 (103-12,13)	東文選・続東文選 (学習院東洋文化研究所) (Y 929-1)
江湖風月集抄 (101-38)	江湖風月集抄 (勉誠社) (Y 921-4)	夢の通ひ路物語 (107-34)	夢の通ひ路物語 (汲古書院・福武書店) (Y 9134-10,14)
高麗史節要 (121-4)	高麗史節要 (学習院東洋文化研究所) (Y 221-6)	劉随州文集 (104-7)	愛知淑徳大学論集 18号 (1993・3)
齊民要術 (168-2)	齊民要術 (農林省) (Y 610-1)	連歌延徳抄 (108-61)	連歌貴重文献集成 8 (勉誠社) (Y 9112-2)
しのびね物語 (107-27)	しのびね物語 (和泉書院) (Y 9134-17,21)	論語集解 (110-17)	元應鈔 論語集解攻文 (経学研究会) (Y 123-3)
主図合結記 (67-16)	主図合結記 (名著出版) (Y 521-16)		

解題

蓬左文庫所蔵の主要資料の解題を収録する公刊図書の一覧です。御利用の際の一助にいただければ幸いです。

蓬左文庫主要図書解説(文化財叢書第13号)	名古屋市教育委員会編・刊	昭和32年
蓬左文庫朝鮮本展観目録	朝鮮学会編・刊	昭和32年
蓬左文庫重要文化財展図録	名古屋市図書館振興会編・刊	昭和38年
蓬左文庫図書解説一 附国書目録抄	愛知県立女子大学国文学研究室編・刊	昭和39年
蓬左文庫重要文化財図録	名古屋市蓬左文庫編・刊	昭和41年(初版)
蓬左文庫善本解題図録(1~3)	名古屋市蓬左文庫編・刊	昭和42~46年(初版)
蓬左文庫源氏物語図録	名古屋市蓬左文庫編・刊	昭和43年(初版)
蓬左(1~)	名古屋市蓬左文庫編・刊	昭和55年~
蓬左文庫名品展図録	名古屋市博物館編・刊	昭和55年
蓬左文庫図録	名古屋市蓬左文庫編・刊	昭和58年

出版物一覽

名古屋市蓬左文庫漢籍分類目録(S.50年刊) 3,500円
 名古屋市蓬左文庫国書分類目録(S.51年刊) 4,000円
 名古屋市蓬左文庫古書古絵図目録(同) 2,500円
 尾崎久弥コレクション目録第一〜三集 各 1,500円
 名古屋叢書(正編)索引・総目録(S.53年刊) 2,000円
 名古屋叢書続編 索引(S.47年刊) 700円
 名古屋叢書続編総目録(S.44年刊) 400円
 善本解図録第一〜三集(S.55年再版) 各 300円
 蓬左文庫・源氏物語図録(S.53年刊) 300円
 蓬左文庫所蔵古地図複製 No.1〜No.15(S.55〜61年刊)
 各 1,800円

1. 尾府名古屋図
2. 尾州名古屋御城下之図
3. 名古屋図
4. 尾張八郡図
- 5〜15. 尾張志付図
5. 尾張図 6. 愛智郡東 7. 愛智郡西 8. 春日井郡
9. 智多郡 10. 熱田 11. 丹羽郡 12. 海東郡
13. 海西郡 14. 中島郡 15. 栗栗郡

御本印型書鎮(S.58年製) 1,000円
 堀田文庫蔵書目録(S.58年刊) 500円
 蓬左文庫絵葉書<8枚組>(同) 300円
 蓬左文庫図録(同) 1,500円
 蟹江慶次郎旧蔵書目録(S.62年刊) 500円

名古屋叢書三編 全19巻20冊(S.56〜63年刊)各3,000円

1. 尾張徳川家系譜
 2. 尾藩世記 上
 3. 同 下
 4. 士林派源流編
 5. 尾張年中行事絵抄 上
 6. 同 中
 7. 同 下
 8. 張州年中行事鈔・尾張俗諺・尾張童遊集
 9. 松濤棹筆(抄) 上
 10. 同 下
 11. 楽寿叢書・十如是独言
 12. 律の滴 諸家雑談・家事雑識
 13. 天保会記鈔本
 14. 金明録
 15. 尾張方言・水はかり・浪越方言集・宮訛言葉の掃溜・雅語訳解・俗語弁
 16. 横井也有全集上 (発句・和歌編)
 17. 同 中 (俳文・俳論俳話編)
 18. (1) 同 下(1) (連句・漢詩文編)
 18. (2) 同 下(2) (狂歌・談義・伝記資料・追加・参考編)
 19. 物品識名・物品識名拾遺・本草会物品目録・泰西本草名疏
- 名古屋叢書三編総目録・索引(H.2年刊) 3,000円

★以上の出版物は、本文庫事務室において頒布しています。
 郵送希望の方は郵送料が必要です。お問い合わせ下さい。(ただし、古地図複製は郵送不可)

利用ご案内

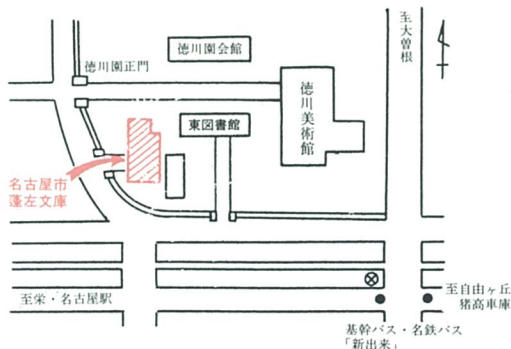
- ▷開館時間 午前9時30分〜午後5時
- ▷休館日 毎月曜日・第3金曜日(館内整理日)
 祝日(日曜に重なる場合は日曜開館、月・火休館)
 特別整理期間(2週間)
 年末年始(12月28日〜1月4日)
- ▷閲覧 館内に限り、館外貸し出しはいたしません。
- ▷展示 随時蔵書の一部を展示
 (特別展を除き入場無料)
- ▷複写サービス 保存上影響のないものについて複写サービス(マイクロフィルム利用他)を行います。ご来庫の上、ご相談下さい。

名古屋市蓬左文庫

〒461 名古屋市東区徳川町1001番地

☎(052) 935-2173

〈名古屋駅から〉市バス(基2)「自由ヶ丘」「猪高車庫」行
 名鉄バス「本地ヶ原方面」行
 〈栄から〉市バス(基2)「引山」「自由ヶ丘」
 「猪高車庫」行
 「新出来」下車、徒歩4分



「蓬左」第50号 ☆平成5年10月2日発行 ☆編集・発行：名古屋市蓬左文庫(東区徳川町1001番地)

☆無料 ☆不定期刊行 ☆印刷：大同印刷株式会社(東区泉2-3-18)